

校訓



平和・自律・創造

学校だより

令和7年12月1日発行

つるぎ町立半田中学校

校長 手塚 博也

第 9 号



『いじめ防止一斉授業』について ～ いじめのない笑顔あふれる学校にするために ～

【人権の日・人権週間の意義と学校の取り組み】

先日は専門委員会の引き継ぎを、先日は生徒会役員の引き継ぎ式を行いました。部活動ではすでに、リーダーとなっていた2年生ですが、生徒会、専門委員会も2年生に代替わりをし、本格的に学校のリーダーとなりました。今後の活躍に期待しています。

さて、12/10は国連で定めた「人権の日」であり、12/4~10は法務省の人権擁護機関などで定めた「人権週間」です。人権意識を高め、人権に関する啓発活動を展開することが目的です。県内の各小中学校では、本年度も「いじめ防止一斉授業」が予定されています。12/17(水)に県内の全ての小中学校の児童生徒6万5千人が「いじめ防止」について、県下一斉に学習を行う予定です。本校でも全校生徒による一斉学習を行います。いじめを「しない・させない・見過ごさない」学校を自分たちの力でつくっていくために、いじめ問題について考える授業です。みんなの力で、いじめのない世界、そして笑顔いっぱいの未来をつくってほしいという願いが込められています。

ところで、廊下や昇降口に貼ってある人権標語を見たことがありますか。「考え方 相手の気持ちと あなたの言葉」「思いやり 心遣いで 花咲かそう」「うれしいな 気づいてくれて 良いところ」「助け合い 優しさの輪を 広げよう」などがあります。これは人権・いじめ防止委員会が作成してくれたものです。この学校からいじめをなくすために作成し、掲示したものと聞いています。先生がつくったものではなく、生徒の手によってつくられた標語であるというところに価値があると思います。半生の優しさや思いやりの輪が広がっていることに、たいへん嬉しく感じています。

【オープン・スクールについて（お礼）】

『第一部：西本篤人氏による人権コンサート 第二部：人権・いじめ防止委員会による人権劇』

オープンスクール（人権コンサート・人権劇）には、たくさんの方々にお越しいただきました。たいへん有り難うございました。

部落差別について、全校で考え方交換を行いました。講演では、差別の不条理さや、互いを尊重しあうことの重要性について、歌や事例を交えながら分かりやすくお話し下さいました。生徒は真剣な表情で耳を傾け、多くの学びを得たように思います。今回の講演を通じて、生徒一人一人が人権について改めて考える貴重な機会となりました。今後も、思いやりの心を育み、誰もが安心して過ごせる学校づくりを目指してまいります。

